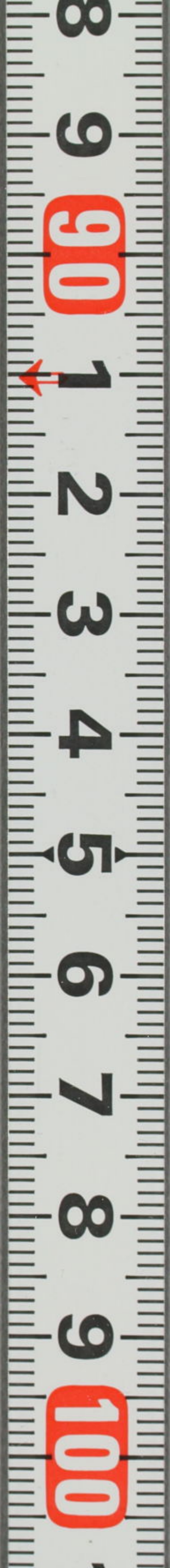




送李百一













持統天皇
春

の

あま
か
ま
乃



柿
人
磨

あ
の
の
な
ひ
と
り
の
り
し



秋の行状
奥の山
少の山
秋の行状
秋の行状



積九支

山邊志人
甲子乃南
乃乃乃
乃乃乃
乃乃乃



乃乃乃

中納言家持

鶴

のよきとれ

とほよとれ

痛

あきらめ

んこ

あつた

かき



本清仲唐

あきらめ

んこ

あつた

かき

あきらめ

んこ



小野小町
 花の
 色は
 めづかし
 秋の
 身のま
 ちの
 まは




義撰法師
 舟の
 名この
 しめ
 しめ
 しめ
 人
 き
 い
 け
 こ
 う



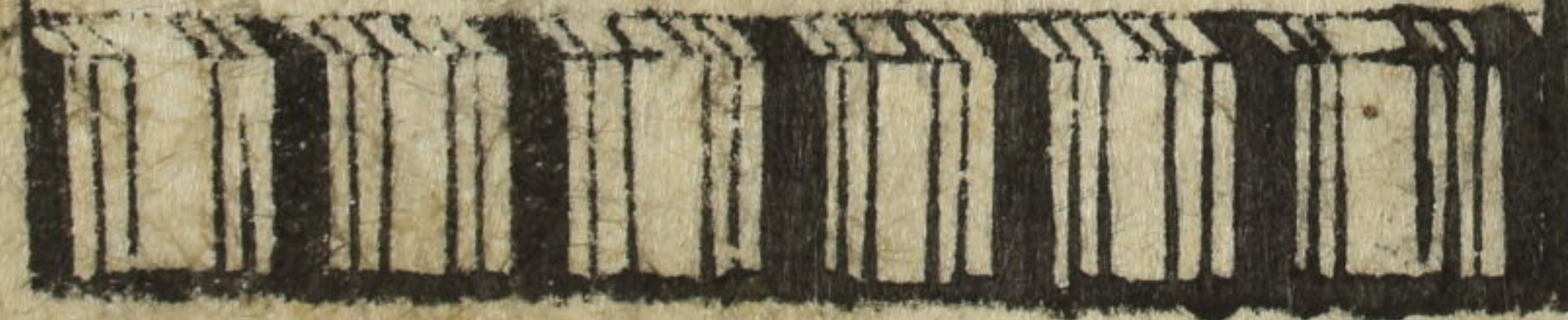

森議堂
和園
十
あ
乃
知
舟



志
中
九
之
あ
乃
知
舟



湯成院
きくまねの
割き
ある
えらる
志と
所と



僧正通昭
天律風雲の
あはれ
しがれ
あはれ
あはれ







和歌
波の
あはれ
の
ま
よ
の
ま
よ
の
ま
よ



夏
の
あ
は
れ
の
ま
よ
の
ま
よ
の
ま
よ

夏原教の和歌



元慶親王

まのつと
かろ
あまの
あまの
あまの



七
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの



大い子里
 月と夜
 物と
 口と
 林と



文屋康秀
 吹かす
 ちん
 びん
 林の



三條大長
 名小おり
 山あね
 人よま
 くら

新庄
 山あね
 沖のま



中納言 藤原 兼光
 見たりと
 言ふは
 事なり
 なるべし
 事なり
 事なり
 事なり



貞信公
 小倉山
 公の
 今一己
 御事
 御事



胡の
 有明の
 月
 頃
 日
 月
 有明の
 頃
 日
 月
 有明の
 頃
 日

有明の
 頃
 日
 月

有明の
 頃
 日
 月
 有明の
 頃
 日
 月
 有明の
 頃
 日

有明の
 頃
 日
 月

紀友則
 久かき
 の
 志
 花のちの流人

十六

春道列樹
 山河の
 志
 花のちの流人

十六

人 志 紀 費 之
 花 志 紀 費 之
 志 紀 費 之
 紀 費 之
 費 之
 之

権 後 厚 具 也
 高 乃
 如 也
 友 如 了 た ぬ 不

仲の世に
 ありては
 風は
 之を
 解
 康



〇 〇 〇 〇

清の世に
 夏の本
 香
 明の世に
 手考の
 月色



〇 〇 〇 〇



平の道徳
忠貞
如く
物や
人の



忠貞
如く
物や
人の





大中伝記宣
浄壇寺
借古の
き
た
た
り
え
し
わ
ら
は
き
し
ゆ
り



清重之
名
風
と
い
ふ
み
あ
ら
の
あ
ら
の
く
ら
け
て
る
あ
ら
の
あ
ら
の
あ
ら
の



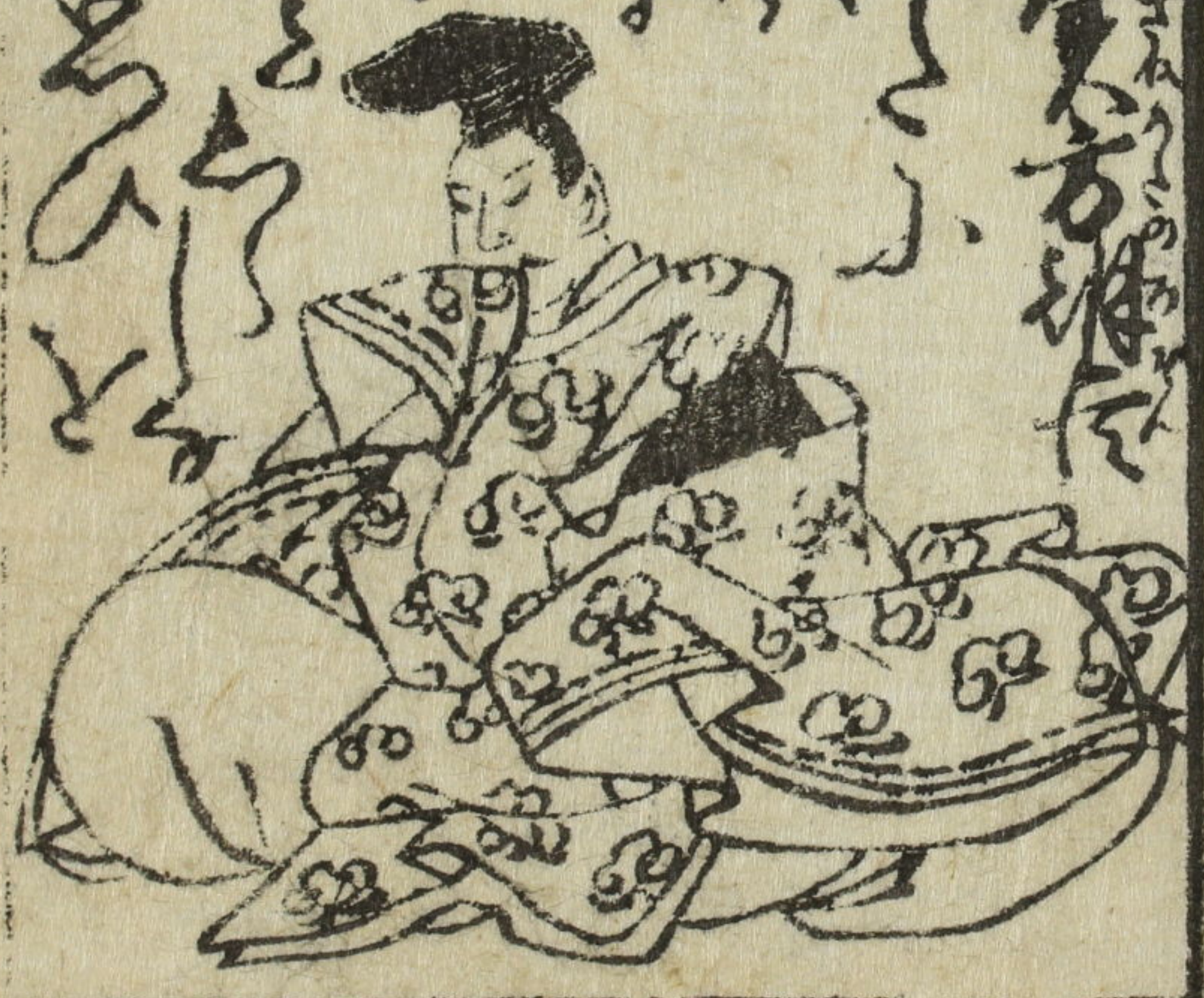
後守義孝

君の心を
命に
おぼしめし
おぼしめし
おぼしめし
おぼしめし



藤原実方

かえりて
かえりて
かえりて
かえりて
かえりて
かえりて



物
 の
 心
 の
 通
 り
 ぬ
 ら
 ぬ
 大
 母
 母

物
 の
 心
 の
 通
 り
 ぬ
 ら
 ぬ
 大
 母
 母

大納言乙たの仁の 遊あそぶ音ね々
 久ひさしき 人ひと 物もの 名な 冬ふゆ
 子こ 元もと 名な 冬ふゆ
 子こ 元もと 名な 冬ふゆ

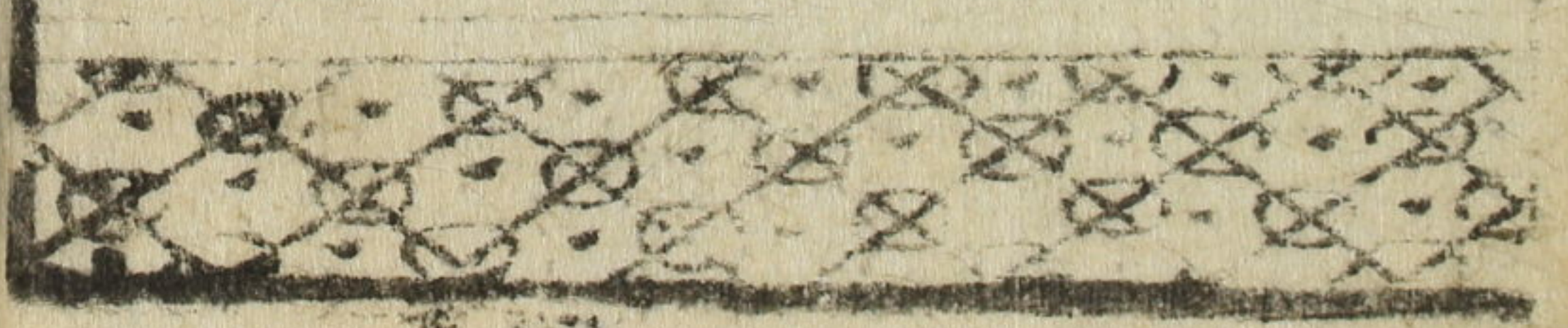
儀ぎ 同どう 二に 同どう 母はは
 子こ 元もと 名な 冬ふゆ
 子こ 元もと 名な 冬ふゆ
 子こ 元もと 名な 冬ふゆ



因縁内付
春の夜
あはれ
かひ
名



春の夜
あはれ
かひ
名

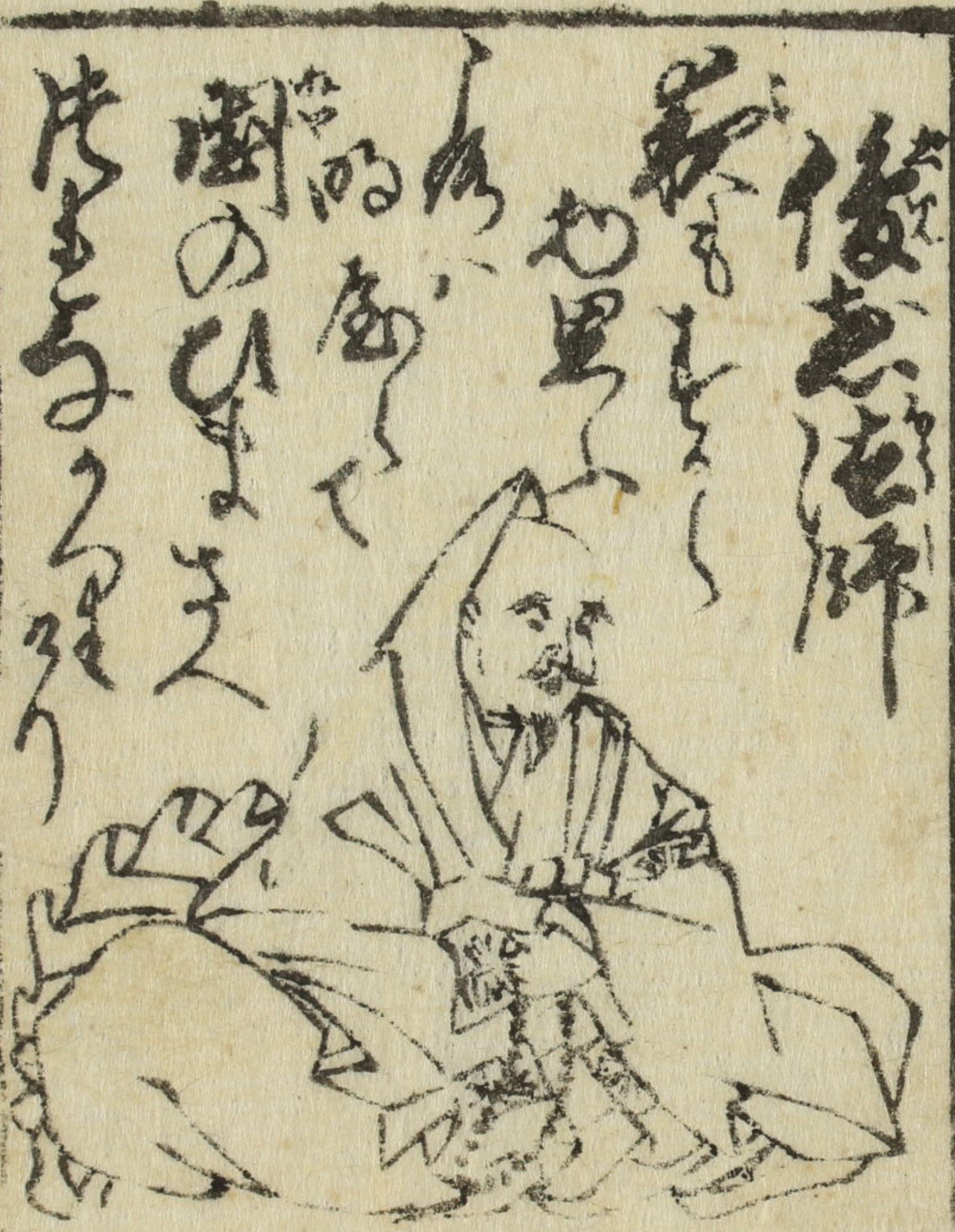


大納言経儀
 御よき候
 門田の
 御座り
 あし
 秋風

良蓮法師
 山
 林の
 いは

後徳寺
 本徳寺
 月との
 有
 月との

徳賢院
 徳賢院
 徳賢院



藤達法師
 秋の夕暮
 静かなる
 夕暮の
 静けさ

西行法師
 月夜
 静かなる
 月夜の
 静けさ







檀中他書家
ふん人
夕
身



入道
た
書
身



順徳院

百

のり

のり

のり

のり

のり

畫工

春曉齋柳谷

日本橋南江通二丁目

板元

總列屋

與兵衛



